

《問い合わせ先》

那覇海上保安部 交通課長

原園 健司

電話 098 - 951 - 3855



那 覇 海 上 保 安 部  
平 成 29 年 11 月 1 日

## 残波岬灯台と美ら海フォトコンテスト 2017 入賞作品決定！

本フォトコンテスト(応募期間 6/20~9/20)は県内外から 106 作品の応募があり、沖縄県写真協会 東 邦定 会長と沖縄県、読谷村、那覇海上保安部等の関係者による審査の結果、入賞 12 作品が決定しました。表彰式及び入賞作品展を次のとおり実施します。

### 1 入賞作品(別添資料のとおり)

残波岬灯台の部：6 作品

美ら海の部：6 作品

### 2 表彰式

日 時 平成 29 年 11 月 23 日(木) 11 時 00 分から 11 時 30 分

場 所 残波岬いこいの広場 Ti - da 3 3 (ティーダ 3 3) 読谷村字宇座 1861 番地

出席者 入賞者、那覇海上保安部、読谷村、沖縄県ほか

取材を希望される報道関係者は 11 月 22 日(水)までに問い合わせ先まで連絡をお願いします。



(大きなシーサー像が目印です。)

### 3 入賞作品展

今年の入賞作品と過去入賞した作品の写真展を11月から12月にかけて、読谷村役場（1階ロビー）、読谷村地域振興センターで開催する予定です。

#### **参考〈 残波岬灯台と美ら海フォトコンテストについて 〉**

船舶航行の安全を確保し海上物流を支える航路標識への理解浸透を図るとともに、海上における船舶及び人身の事故防止意識の高揚を図ることを目的に実施しています。

本フォトコンテストは、平成22年から26年まで残波岬灯台写真コンテストと称して開催してきましたが、平成27年から従来の灯台が被写体に含まれる残波岬の魅力を伝える作品に加え、新たに読谷村周辺の海で働く人々、船舶、マリンレジャーを題材とした美ら海の魅力を伝える作品を募集し、コンテスト名を残波岬灯台と美ら海フォトコンテストとして開催しています。

今年が開催は、1回目の残波岬灯台写真コンテストから数えて8回目の開催になります。

（以上）

## 残波岬灯台と美ら海フォトコンテスト2017入賞作品

### 残波岬灯台の部

入賞	作品の題名	氏名	住所
那覇海上保安部長賞	茜色に染まる	<small>びせ たくみ</small> 備瀬 拓海	沖縄県浦添市
読谷村長賞	大きな線香花火	<small>えびこ わたる</small> 蛸子 渉	沖縄県うるま市
海上保安協会沖縄地方本部長賞	2人と灯台	<small>さくがわ ていーら</small> 佐久川 太陽	沖縄県那覇市
読谷村商工会会長賞	岬に灯をともす	<small>ながみね たかし</small> 長嶺 高嗣	沖縄県南城市
読谷村観光協会会長賞	背比べ	<small>しまぶく すずな</small> 島袋 鈴奈	沖縄県浦添市
FMよみたん社長賞	灯台のオーラ	<small>まかべ こうじ</small> 真壁 幸司	沖縄県読谷村

### 美ら海の部

入賞	作品の題名	氏名	住所
那覇海上保安部長賞	オレの船	<small>うらそえりの</small> 浦添 莉乃	沖縄県那覇市
読谷村長賞	とびたい!	<small>もりずみ ゆういち</small> 森住 雄一	埼玉県さいたま市
沖縄県知事賞	金色の思い出	<small>りくぶん</small> 陸 文	愛知県名古屋市
読谷村商工会会長賞	魚の流れ	<small>たにくち つねお</small> 谷口 常雄	神奈川県横浜市
読谷村観光協会会長賞	アリエルになりたい	<small>たていし えりか</small> 立石 絵梨香	東京都品川区
FMよみたん社長賞	ダイビングボート	<small>たにくち たけこ</small> 谷口 たけ子	神奈川県横浜市

### 那覇海上保安部長賞



「茜色に染まる」

撮影：平成 29 年 8 月、作品サイズ：A4

備瀬 拓海（沖縄県浦添市）16 歳

【作者のコメント】 残波岬の海で日が没する写真を撮るため、三線を弾きながら待っている人です。物思いにふけるような表情をしていて背景が時間と合っているなと思いました。

【審査委員長のコメント】 灯台、三味線を持つ人物、黒い雲のこの写真が、見る側に想像力を沸き起こさせる面白さがある。青、黄、赤と色の三原色を旨く配置した事が引き付ける要素にもなった。

### 読谷村長賞



「大きな線香花火」

撮影：平成 29 年 5 月、作品サイズ：A4

蛸子 涉（沖縄県うるま市）41 歳

【作者のコメント】 水平線の下へ沈む間際の夕日は、線香花火の最後の瞬間のようでした。

【審査委員長のコメント】 とても綺麗な灯台の写真です。黄金色に染まる海、淡い色の夕日、薄くブルーに染まる灯台、佇む人々のシルエット、それらが素晴らしく合体したシーンとなりました。

残波岬灯台と美ら海フォトコンテスト 2017 ( テーマ：残波岬灯台 )

入賞作品 -

**海上保安協会沖縄地方本部長賞**



「2人と灯台」

撮影：平成 29 年 8 月、作品サイズ：A4

佐久川 太陽（沖縄県那覇市）17 歳

【作者のコメント】 2人と灯台が陰になって夕日がいい光でいい感じだったのでとりました。

【審査委員長のコメント】 恋人同士のシーンに灯台も夕日も妬けて来そうな暑いショットです。計算しての写真ですが映画のワンシーンや恋愛小説の表紙に使えるような写真になりました。

**読谷村商工会会長賞**



「岬に灯をともす」

撮影：平成 29 年 8 月、作品サイズ：A4

長嶺 高嗣（沖縄県南城市）54 歳

【作者のコメント】 日没後に、きれいなブルーアワーが広がり、灯台と三日月が灯をともし最高の瞬間でした。

【審査委員長のコメント】 綺麗な夕焼け写真は何度見ても万人に飽きられない。作者の狙い通りに仕上がったカットと思います。灯台や雲の配置など高い技術力が目立ちます。

残波岬灯台と美ら海フォトコンテスト 2017 ( テーマ：残波岬灯台 )

入賞作品 -

**読谷村観光協会会長賞**



「背比べ」

撮影：平成 29 年 8 月、作品サイズ：A4

島袋 鈴奈 ( 沖縄県浦添市 ) 17 歳

【作者のコメント】 足元にある草が元気よく伸びていたのので、大きな灯台よりも、大きな草になるように撮影しました。

【審査委員長のコメント】 とても詩的に仕上がった写真です。灯台をぼかしエノコロ草が主題に見えますが、見る側に灯台がしっかりとインプットされる構図です。カメラマンのセンスが伺える作品です。

**FM よみたん社長賞**



「灯台のオーラ」

撮影：平成 29 年 5 月、作品サイズ：A4

真壁 幸司 ( 沖縄県読谷村 ) 29 歳

【作者のコメント】 夕暮れ時、雲が灯台の「オーラ」のように扇状に広がって不思議な雰囲気を出していた。なかなか見られない光景に周りの人々も写真を撮っていて楽しんでいました。

【審査委員長のコメント】 灯台を真ん中に持ってくる構図で安定感のある写真となりました。また、空に広がる赤い筋上の雲が効果的な配置となりました。なかなか見られない夕焼け写真となっています。

### 那覇海上保安部長賞



「オレの船」

撮影：平成 28 年 9 月、作品サイズ：A4

浦添 莉乃（沖縄県那覇市）17 歳

【作者のコメント】 海へ出るために、おじいは船のメンテナンスをかせない。

【審査委員長のコメント】 愛船の手入れに余念がない男性。真剣な眼差しが海の厳しさと怠る事の無い大切さを教えている。船とアンバー系の色配置が写真に良いコントラストを与えた。

### 読谷村長賞



「とびたい！」

撮影：平成 29 年 3 月、作品サイズ：2L

森住 雄一（埼玉県さいたま市）60 歳

【作者のコメント】 残波沖で最後の最後に跳んでくれたザトウクジラのこども。何回転したかは不明です。

【審査委員長のコメント】 ザトウクジラのジャンプを捉えた力強い写真です。船上でカメラを構え一瞬のタイミングを狙っていた作者の粘り強さが作り上げた作品となりました。子鯨ゆえ少し小さな被写体となりましたが、次回は親鯨でチャレンジしてください。

### 沖縄県知事賞



「金色の思い出」

撮影：平成28年11月、作品サイズ：A4

陸 文（愛知県名古屋市）53歳

【作者のコメント】 はじめて遊びに来た女の子が一生懸命貝殻を探している姿を見て思わずシャッターを切りました。ちょうどキラキラの夕日が沖縄の海に照らしとってもいい思い出になりました。

【審査委員長のコメント】 暖色系の夕日の前に佇む少女のカットが綺麗な写真に仕上がった。少女の手元で揺れる波形が写真に動きを与え、静と動が捉えられて成功したカットになっています。

### 読谷村商工会会長賞



「魚の流れ」

撮影：平成28年8月、作品サイズ：A4

谷口 常雄（神奈川県横浜市）63歳

【作者のコメント】 岩を覆うキンメの群れの迫力に圧倒されてしまいました。

【審査委員長のコメント】 サンゴ礁の周りを群れで踊るように泳ぐ赤い色の魚の群れが写真に動きを与えている。自然界の共存性が見える写真です。



残波岬灯台と美ら海フォトコンテスト 2017 ( テーマ：美ら海 )

— 入賞作品 —

**読谷村観光協会会長賞**



「アリエルになりたい」

撮影：平成 29 年 8 月、作品サイズ：2L

立石 絵梨香 (東京都品川区) 28 歳

【作者のコメント】 前田岬で早朝にシュノーケリング。登ったばかりの陽の光、たくさんの魚たちに囲まれ素敵な時間を過ごせました。

【審査委員長のコメント】 全体がマリンプルーの色世界で見ると側にファンタジックな心を湧き上がらせる写真となっている。

ダイビングの人物と魚が会話を交わしている様で楽しんで見られる。

**FM よみたん社長賞**



「ダイビングポート」

撮影：平成 28 年 10 月、作品サイズ：A4

谷口 たけ子 (神奈川県横浜市) 61 歳

【作者のコメント】 ポートの間から差す光が神秘的で美しかったです。

【審査委員長のコメント】 青い海の中で揺らめく船形と小さな魚たちの群れが幻想的な世界を作り出した。船底の横から照らす太陽光が効果を出し、見るものを夢の世界へ誘う。